

SANSEIDO 三省堂

ことばは人を育て、未来をきりひらく知の源です。三省堂はことばをみつめて120余年

書名	漢字 <input type="text"/>	よみ <input type="text"/>	著者名	漢字 <input type="text"/>	よみ <input type="text"/>	<input type="button" value="検索"/>	さらに詳しく検索
----	-------------------------	-------------------------	-----	-------------------------	-------------------------	-----------------------------------	--------------------------

[トップ・ページ](#)

[新刊・近刊](#)

[辞書](#)

[電子出版](#)

[一般書](#)

[六法・法律書](#)

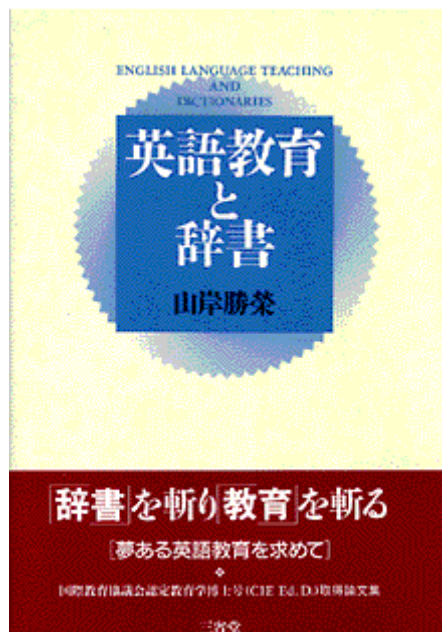
[教科書](#)

[参考書](#)

[教材](#)

[品切一覧](#)

英語教育と辞書



山岸勝榮 著

2,625(2,500)円 四六 224 頁 4-385-35763-3 (品切)

日本人のための英語教育、夢ある英語教育をめざした本書では、充実した

辞書論・教育論が展開されている。中学・高校・大学で教えた経験からの発言は、これからの英語教育に多大の貢献をなすだろう。

1997年 4月 20日 発行

●著者紹介

山岸 勝榮(やまぎし かつえい)

1944年、山口県宇部市生まれ。法政大学大学院博士課程修了(英語学・言語学専攻)、ロンドン大学ユニバーシティ・コレッジ大学院留学(英語学・音声学専攻)。法政大学教授を経て、現在、明海大学教授、慶応義塾大学講師、国際教育研究所副会長。

我が国の英語教育・英語辞書を改善すべく、確固たる信念に基づいた独自の発言と実践を行っており、今回の CIE Ed.D.論文はその集大成である。

著書に『日英言語文化論考』『現代英米語の諸相』(正・続・続々の三作)、『イギリスの言葉と社会』(以上、こびあん書房)ほか多数がある。『ニューアンカー和英辞典』『スーパー・アンカー英和辞典』(ともに学習研究社)の編集主幹、『ケンブリッジ・インターナショナル英英辞典』の日本人顧問でもある。

●目次

英語教育と辞書・目次

英語辞典にももの申す

日本人学習者のための辞典選び…………… 7
—その Do's & Don'ts

英和辞典について考える…………… 16

—学習者に有益な英和とは

1. 収録語彙の問題 16
2. スピーチレベルの問題 (1) 22
3. スピーチレベルの問題 (2) 38
4. 語義と用例における日本語の問題 50
5. 地域ラベルと難語の問題 65
6. 語法・用例・発音の問題 78

和英辞典について考える…………… 93

—学習者に有益な和英とは

- はじめに 93
1. 見出語と訳語について 95
 2. 例文について 106
- おわりに 112

夢ある英語教育

生徒に教えたい単語の語・辞書の話…………… 115

1. 単語の話を聞かせることの意義 115
2. 単語・辞書の話のしかた 117

言語のセンスを身につけさせる	143
1. 「言語のセンス」とは何か	143
2. 言語的センスを磨くために	153
夢ある英語教育	158
—英語表現の「ロマンス」を活用する	
1. 英語表現の「ロマンス」を探究する	158
2. 授業と英語表現の「ロマンス」の活用	160
戦後 50 年を怒りを込めて振り返る	171
1. 個人的経験を中心に	171
2. 21 世紀に向けて英語教育の在り方を考える	179
* * *	
英米語に対する基本認識と知識	183
1. 日本人の英語について	183
2. 「しょせん日本英語たらざるをえない」か	185
3. なぜ英米語を問題にするか	194
4. 英米語と英語教師の姿勢	203
英米語の知識と英文訂正	209
あとがき	215

●『英語教育と辞書』

自著自讃(「ぶっくれっと」1997.7 no.125 より)

山岸勝榮

本書は、私が国際教育協議会(Council of International Education)認定教育学博士号を取得した論文集「英語教育の思想と実践」(Philosophy of Teaching English to Japanese Learners and Its Practice)中より、標記の題名のもとにまとめたものである。英語のタイトルは English Language Teaching and Dictionaries とした。

本書で私は、実践的辞書論・教育論を詳述しており、辞書に関しては、特に「学習者にとって有益な英和とは」、「学習者にとって有益な和英とは」という二点に焦点を絞りながら、主に学習英和辞典、学習和英辞典の質的向上を意図した理論・実践論を展開した。

また、英語教育論に関しては、私自身が受けた英語教育の問題点を浮き彫りにしながら、より望ましい英語教育、夢ある英語教育を目指す私の具体的教育論・実践論を展開した。そこには、生徒に教えたい単語の話・辞書の話、言語のセンスを身につけさせる方法、夢ある英語教育の実現方法、目標言語変種としての英米語の捉らえ方なども収録されている。

審査(計四名)に当たって下さった小川邦彦・山梨大学教授からは、「理論と実践の融合が精緻に展開された本書は、国際理解教育としての英語教育の深化に、多大の貢献をするものである」と、また、本名信行・青山学院大学教授からは、「日本人のための英語教育を目指した本書は、充実した辞書論・実践的教育論を中心に、有意義で興味深い発見を記録している」と、それぞれご高評いただいた。「我が国の英語教師に自信と示唆を与えてくれる指導書である」、「本書には、英語研究者、英語教師としての著者のなみなみならぬ情熱、意気込み、使命感が満ちあふれている」このような評を寄せて下さった一般読者(共に大学教授)もある。

ちなみに、「日本人に英語を教えるプロ中のプロ」を認定する制度(英語科教員上級職認定プログラム)下での教育学博士号(CIE Ed. D.)取得は、第一号の東京学芸大学名誉教授・羽鳥博愛氏について、私が第二号である。

[▲このページのトップ](#)



[Copyright \(C\) 2005 by SANSEIDO Co., Ltd. Tokyo Japan](#)